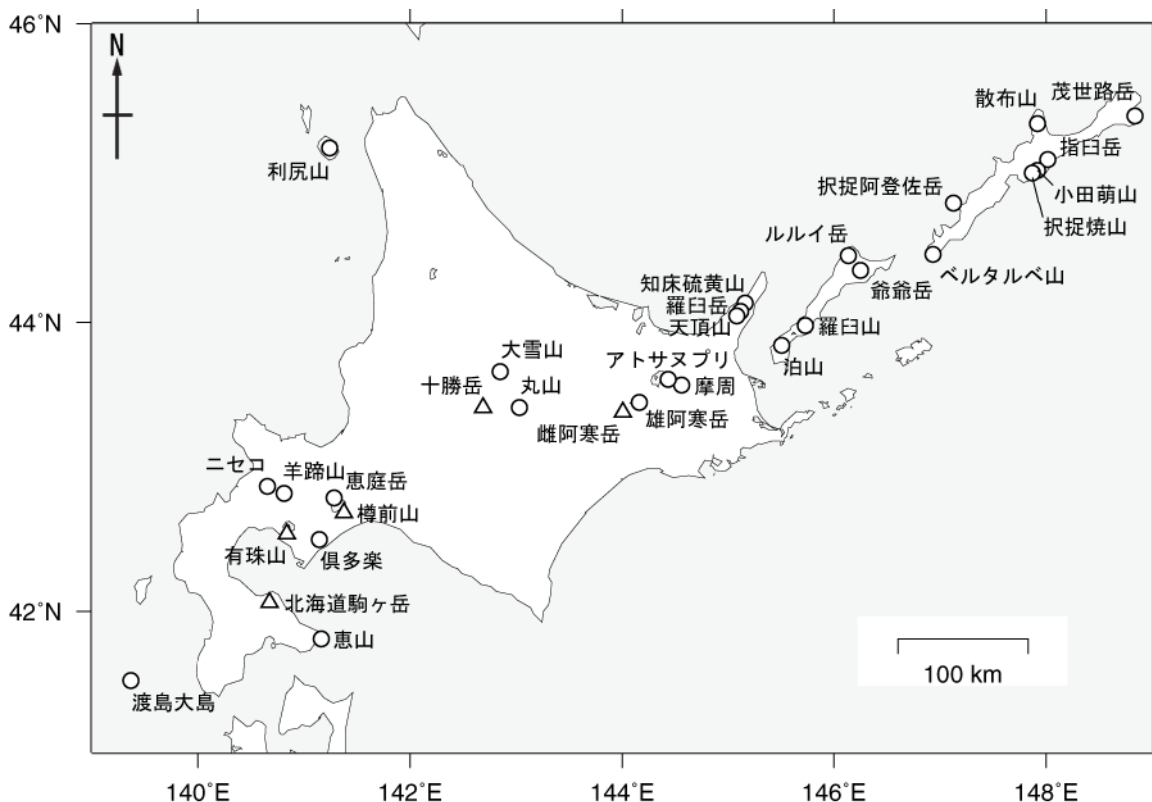


管内月間火山概況（平成24年8月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例	
噴火警戒レベル導入火山	▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
噴火警戒レベル未導入火山	●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁の他、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

次回の管内月間火山概況（平成24年9月分）は平成24年10月9日に発表する予定です。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動状況は以下のとおりです。予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

13日未明に、大正火口付近が夜間に高感度カメラで明るく見える現象が観測されました。今回の現象は6月30日～7月1日と比べて規模は小さく、微弱なものでした。この現象は高温ガスの噴出や硫黄の燃焼等によるものと推定されます。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は現在も続いていますので、火山活動の推移に注意してください。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

地震活動、噴煙活動は概ね静穏に経過しており、地殻変動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

A火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

択捉焼山〔噴火予報〕

25日07時00分の気象衛星（MTSAT-2）画像で海拔約4000mの高さに達する噴煙を観測しました。これに伴い、気象庁東京航空路火山灰情報センターは25日10時06分に航空路火山灰情報¹⁾を発表しました。その後、気象衛星画像で噴煙は観測されていません。

択捉島を訪れていた北海道大学によると、噴火活動は15日から始まったと考えられ、25～26日の2日間で合わせて4回の噴火が確認されました。このうち1回は噴煙が海拔約4000～5000mの高さまで達しています。

1) 航空路火山灰情報は、航空機の安全運航のために発表している情報です。世界9か所に情報提供を行なうセンターが設置されており、東京センターでは東アジア及び北西太平洋領域を担当しています。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。